

ベトレハムの園病院は原則として

身体的拘束は行ないません

身体的拘束を行わないための取組

- 1. 職員全員が拘束等の行動制限を原則行わない事を認識し、取り組みます。
- 2. 行動制限を招きがちな患者の身体的・精神的要因を除くために環境を整えます。
- 3. 看護介入としてケア方法の改善を検討し、創意工夫を重ねます。
- 4. ベトボール・プロテクトボトル等拘束に代わる方法を試行し、実現します。
- 5. 患者本人及びご家族への説明を丁寧に行い、共に良い方法を考え、話し合っていきます。

過去 6 か月間の身体的拘束の実施率（3 カ月移動平均値）

□ 令和 8 年 8 月	（1 階病棟）	1.1 %	（2 階病棟）	4.0 %
□ 令和 8 年 7 月	（1 階病棟）	2.8 %	（2 階病棟）	4.1 %
□ 令和 8 年 6 月	（1 階病棟）	4.5 %	（2 階病棟）	4.5 %
□ 令和 8 年 5 月	（1 階病棟）	5.0 %	（2 階病棟）	4.1 %
□ 令和 8 年 4 月	（1 階病棟）	4.2 %	（2 階病棟）	4.0 %
□ 令和 8 年 3 月	（1 階病棟）	3.1 %	（2 階病棟）	3.7 %

認知症ケア委員会（旧身体拘束ゼロ委員会）メンバー

- 1. 病院管理者（病院長）
- 2. 看護部管理者（看護部長）
- 3. 病棟看護師（看護主任を含む 3 名）
- 4. 病棟介護士（2 名）
- 5. 薬剤科責任者
- 6. リハビリ代表者（作業療法士）
- 7. 事務局（医療連携課リーダー）

